文化財（国登録有形文化財）の登録について

登録される文化財建造物の概要は以下のとおりです。（※下線は用語解説あり）

■今回答申される文化財建造物（兵庫県分）**１４件・５箇所**

（1）**武藤家住宅**（むとうけじゅうたく）　４棟

所在地：兵庫県神戸市東灘区御影２丁目 323 －４

特徴等：阪急御影駅近傍の閑静な住宅街にある。主屋は敷地の中央後寄りに建ち、入母屋造りの大屋根の周囲に下屋 (げや) をまわして主体部をつくり、上手 (かみて) 奥に蔵前と離れ、下手 (しもて) 後方に居間棟、下手中央に突出する玄関脇に洋館が附属する。主屋上手最奥部に土蔵、背面に中庭を挟んで女中部屋が建ち、敷地正面隅には数寄屋風意匠の表門を開く。優れた大工技術でまとめられた上質な大正後期の和風住宅。

（2）**御影公会堂**（みかげこうかいどう）　１棟

所在地：兵庫県神戸市東灘区御影石町４丁目73－１

特徴等：御影地区の中心部に建つ。鉄筋コンクリート造三階建、清水栄二の設計で、モダニズムを基調に多様な造形表現を取込み、全体を巧みにまとめる。地域に親しまれる独創的デザインの文化施設。

（3）**土井家住宅**（どいけじゅうたく）　３棟

所在地：兵庫県姫路市大津区平松字屋敷 503

特徴等：姫路市街近郊の旧平松港にある製粉業等を営んだ旧家の住宅。街路に面して建つ主屋は入母屋造り本瓦葺きで，二階正面を開口部として眺望を確保しつつ，両端から側面は塗り籠めて重厚に仕上げる。敷地背面両隅の東土蔵と西土蔵が伝統的な屋敷構えを形成し，港町の歴史的景観の核となっている。

（4）**旅亭文市楼**（りょていぶんいちろう）　２棟

所在地：兵庫県三木市本町３丁目1385－１他

特徴等：旧三木城下の町人地にある。旧館の大広間は書院風の格調高いつくり。旧館背面に接続する新館は各客間に数寄屋好みの意匠を凝らす。戦前の地方都市の営みの一端を物語る伝統的な木造建築で造られた料理旅館。

（5）**旧難波酒造**（きゅうなんばしゅぞう）　４棟

所在地：兵庫県神崎郡神河町中村砂山 161

特徴等：旧但馬街道の宿場町にある幕末から酒造業を営んだ商家。街道に面して建つ主屋は入母屋造り桟瓦葺き平入りのつし二階建て。内部は三列構成の上手に上質な座敷飾りを備えた座敷 2 室を設ける。主屋の上手奥には土蔵と茶室が連なり、前面の庭と併せて旧街道の歴史的景観の核を形成している。主屋の背面には桁行 30m、切妻造りの醸造蔵が建ち、江戸時代の酒造施設の構成を伝えている。

■答申が行われる建造物の概要

＜全国＞

	新規登録	累計
登録数	１９６件	１１，８８６件
関係市町村	５５市町村（区）	９１７市町村（区）
関係都道府県	２８都府県	４７都道府県

＜兵庫県＞

	新規登録	累計
登録数	１４件（５箇所）	６７５件（１９４箇所）
関係市町村	４市町	３１市町

※今回、神河町から初登録。

武 藤 家 住 宅　4棟

名　称：**武藤家住宅主屋**（むとうけじゅうたくしゅおく）
所在地：兵庫県神戸市東灘区御影２丁目323-４
年　代：大正15年／昭和14年頃改修
登録基準：二　造形の規範となっているもの
特徴・評価：阪急御影駅近傍の閑静な住宅街にある。主屋は敷地中央に南面して建ち、入母屋屋根の周囲に下屋を廻し、西側奥に蔵前と離れ、東側奥に居間棟が附属する。東側中央に突出する玄関脇には洋館を附属する。優れた大工技術でまとめられた上質な和風住宅。
備考（調査等）：建築年代は棟札による。呉服商の武貞幸が接待所兼住宅として建てたものを昭和14年に資産家の武藤孝太郎が居宅として購入した。武藤孝太郎は著作『欧州の現勢と準戦時経済』（昭和12年）で知られる。

名　称：**武藤家住宅蔵**（むとうけじゅうたくくら）
所在地：兵庫県神戸市東灘区御影２丁目323-４
年　代：大正15年頃
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価：主屋の背面奥に建ち、蔵前を介して主屋と接続する。切妻造桟瓦葺、外壁モルタル塗で、入口に米国製錠前付の鋼製両開き扉、窓に鋼製扉を備え、内壁を竪板張で仕上げる。堅牢かつ上質なつくりで重厚な屋敷構えを構成するとともに良好な街路景観をつくっている。
備考（調査等）：建築年代は建築的特徴から主屋と同時期と推定。

名　称：**武藤家住宅女中部屋**（むとうけじゅうたくじょちゅうべや）
所在地：兵庫県神戸市東灘区御影２丁目323-４
年　代：大正15年頃
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：主屋の背面に中庭を挟んで建つ。切妻造桟瓦葺、外壁杉皮張で、内部は三畳一間、正面は渡廊下で主屋と接続し、東側面に井戸屋と塀を附属する。主屋と調和した丁寧かつ抑制の効いた造作が大工の技量を窺わせる。上流階級の生活の一端を伝える附属施設。

備考（調査等）：建築年代は建築的特徴から主屋と同時期と推定。

名　称：**武藤家住宅門**（むとうけじゅうたくもん）

所在地：兵庫県神戸市東灘区御影２丁目323-４

年　代：大正15年頃

登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：敷地の正面東端に建つ入母屋造の表門。本柱の背後に控柱を立て、茅葺風の急勾配屋根をかける。柱や梁は磨き丸太で、化粧軒裏に雑木の木舞や竹の隅木を用いるなど、主屋と異なる数寄屋風意匠とする。上流階級の暮らしぶりと同時に施主の趣向がよく現れている。

備考（調査等）：建築年代は建築的特徴から主屋と同時期と推定。

御 影 公 会 堂　１棟

名　称：**御影公会堂**（みかげこうかいどう）

所在地：兵庫県神戸市東灘区御影石町４丁目 73- １

年　代：昭和８年／昭和26年・同47年・平成16年・同29年改修

登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：国道２号と石屋川が交差する御影地区の中心地に建つ。嘉納治兵衛の寄附、清水栄二の設計、大林組の施工により、モダニズムを基調に多様な造形表現を取込み、全体を巧みにまとめる。様々な用途で活用され地域に親しまれてきた、独創的な意匠の文化施設。

備考（調査等）：建築年代は『御影町誌』（昭和11年）による。嘉納治兵衛は白鶴醸造元の当主。清水栄二は東京帝大卒、神戸市技師を経て大正15年に独立。主な作品に帝国新栄ビル（大正12年）。

土 井 家 住 宅　３棟

名　称：**土井家住宅主屋**（どいけじゅうたくしゅおく）

所在地：兵庫県姫路市大津区平松字屋敷 503

年　代：明治45年頃／昭和50年代改修

登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：姫路市郊外の旧平松港で代々多角的に商売を営んだ旧家の住宅。主屋は街路に南面して建ち、正面西半から側面に庭を設ける。入母屋造本瓦葺で、二階正面は開口部として眺望を確保し、両端から側面は漆喰塗で重厚に仕上げる。港町の歴史的景観の核となっている。

備考（調査等）：建築年代は固定資産税課税証明書による。昭和50年代に一部居室と水回りを改修。土井家は、代々次郎を襲名し、製粉業や製麺業のほか、保険業、貸家業などを営んだ。

名　称：**土井家住宅東土蔵**（どいけじゅうたくひがしどぞう）
所在地：兵庫県姫路市大津区平松字屋敷 503
年　代：明治45年頃／昭和50年代改修
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価：主屋の背面、敷地東北隅に南面して建つ。切妻造本瓦葺平入、外壁漆喰塗で、正面中央に片持ち庇を出す。西土蔵に比べて規模が小さいが、腰壁や鉢巻、開口部などは同様に重厚につくる。西土蔵と同じく、伝統的な町家の屋敷構えをかたちづくっている。
備考（調査等）：建築年代は固定資産税課税証明書による。昭和50年代に外壁修理。

名　称：**土井家住宅西土蔵**（どいけじゅうたくにしどぞう）
所在地：兵庫県姫路市大津区平松字屋敷 503
年　代：明治45年頃／昭和50年代改修
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価：主屋の背面、敷地西北隅に南面して建つ。切妻造本瓦葺平入、外壁漆喰塗で正面に一間の庇を付ける。敷地側の腰壁を海鼠壁とし、軒に鉢巻三段を廻し、出入口には観音扉を設けるなど重厚につくる。東土蔵と同じく、伝統的な町家の屋敷構えをかたちづくっている。
備考（調査等）：建築年代は固定資産税課税証明書による。昭和50年代に外壁修理。

旅 亭 文 市 楼　2棟

名　称：**旅亭文市楼旧館**（りょていぶんいちろうきゅうかん）
所在地：兵庫県三木市本町３丁目 1385- １他
年　代：大正13年／昭和前期増築
登録基準：二　造形の規範となっているもの
特徴・評価：旧城下町人地の入組んだ路地奥にある。旧館は入母屋造妻入の大広間棟と客間棟からなり、大広間は書院風の格調高いつくりとし、各客間は数寄屋風や草庵風の意匠を用いて個性豊かにつくる。戦前の地方都市の営みの一端を物語る伝統的な木造建築で造られた料理旅館。
備考（調査等）：建築年代は棟札による。客間棟は建築的特徴から大広間棟の新築から間もない昭和前期の増築と推定。文市楼は明治２年創業で大正９年に当地に移転した。

名　称：**旅亭文市楼新館**（りょていぶんいちろうしんかん）
所在地：兵庫県三木市本町３丁目 1385- １他
年　代：昭和前期
登録基準：二　造形の規範となっているもの
特徴・評価：旧館客間棟の背面に渡廊下で接続する。入母屋造の座敷棟で、中廊下をＴ字に通して客間五室を配する。各客間は傘天井や網代天井を使い分け、入口に板葺の庇を付すなど数寄屋好みの意匠を凝らす。旧館とともに戦前に都市部で興隆した料理旅館の様相を伝える。
備考（調査等）：建築年代は建築的特徴から旧館客間棟の増築と同時期と推定。

旧 難 波 酒 造　４棟

名　称：**旧難波酒造店舗兼主屋**（きゅうなんばしゅぞうてんぽけんしゅおく）
所在地：兵庫県神崎郡神河町中村砂山 161
年　代：江戸末期
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価：旧但馬街道の宿場町に西面して建つ。大規模な二階建入母屋造平入で、四周に下屋を廻す。南を土間、北を三列構成の床上部とし、上手の座敷二室には上質な座敷飾を備える。正面の出格子や虫籠窓など町家の意匠をよく残し、旧街道の歴史的景観の核となっている。
備考（調査等）：建築年代は慶応元年（1865）との伝承による。難波家は江戸末期より酒造業を営んだと伝わる。

名　称：**旧難波酒造土蔵**（きゅうなんばしゅぞうどぞう）
所在地：兵庫県神崎郡神河町中村砂山 161
年　代：明治初期
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価：主屋の北西に廊下で接続する。土蔵造二階建、東西棟の切妻造で、外壁は土壁、上部竪板張である。南面の戸口に観音開きの土戸、裏白戸、板戸、網戸を建込む堅牢な構えで、丁寧な左官仕事で仕上げる。貴重品を収蔵した、商家の暮らしに欠かせない土蔵。
備考（調査等）：建築年代は和釘の使用や部材の経年状況の比較から主屋と同時期以降と推定。

名　称：**旧難波酒造茶室**（きゅうなんばしゅぞうちゃしつ）
所在地：兵庫県神崎郡神河町中村砂山 161
年　代：明治前期 / 大正期改修
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価：土蔵の北に建つ。南北棟の切妻造桟瓦葺で、西面に下屋を設ける。浴室として建てられたが、大正期に茶室に改修された。内部は三畳の茶室と水屋から

なり、茶室は床の間と地袋付の棚を備える。杉の良材を用いた端正なつくりで、商家の暮らしぶりの一端を示す。

備考（調査等）：建築年代は部材の経年状況の比較から土蔵と同時期以降と推定。

名　称：**旧難波酒造醸造蔵**（きゅうなんばしゅぞうじょうぞうぐら）

所在地：兵庫県神崎郡神河町中村砂山 161

年　代：江戸末期

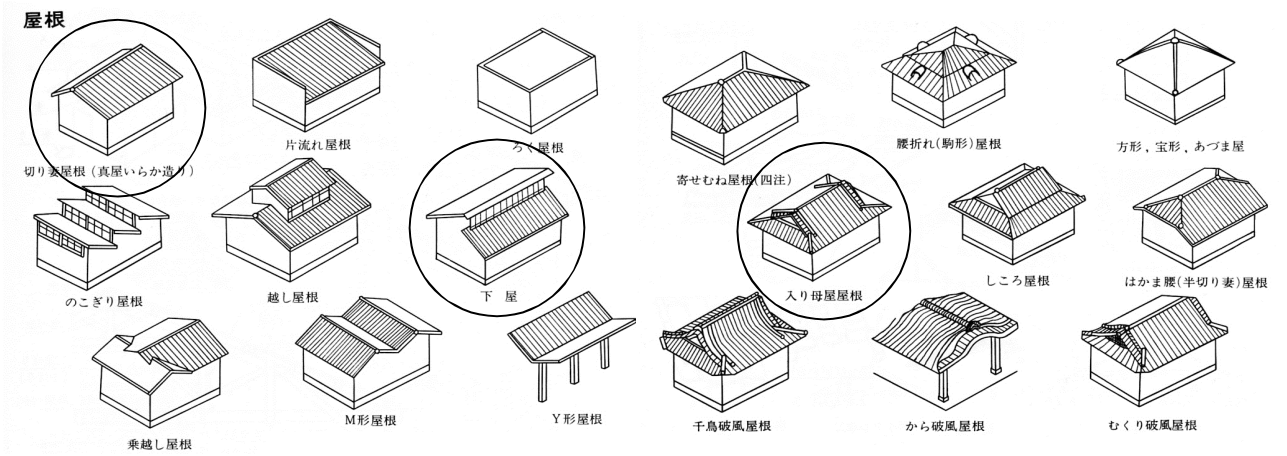
登録基準：一　国土の歴史的景観に寄与しているもの

特徴・評価：主屋の背面に建つ。桁行30m梁間10m、切妻造の南北棟で、西面に下屋を設ける。小屋組は登梁形式である。内部は一室で、大径の梁をかけ渡し、一部二階を設ける。酒造業に欠かせない施設で、店舗兼主屋とともに近世の酒造施設の構成を伝える。

備考（調査等）：建築年代は酒造創業時の建築との伝承と部材の経年状況の比較から主屋と同時期と推定。

第90回

屋根形式



1　武藤家住宅

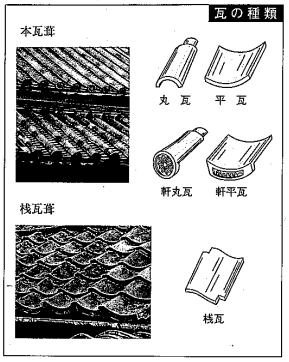
■入母屋造（いりもやづくり）　寄棟と切妻の結合した屋根形式。→上図

■下屋（げや）　主屋から差しかけてつくり出した小屋根、またはその下の建物部分。

■棟札（むなふだ）　建物の新築、修理などをした際に、施主・施工者名・年月日・祈願文等を墨で書き付け、棟木等に打ち付ける、上部が駒形をした細長い板。

■切妻造（きりづまづくり）→上図　切妻屋根（棟を頂点としてふたつの傾斜面が合わさって三角形をつくる屋根）をもった建物の形式。

■桟瓦葺（さんがわらぶき）→右図　本瓦葺の丸瓦と平瓦を一つにした桟瓦を使った葺き方。葺上げたとき、勾配の下方になる一隅（重ね部）に切込みがある。



■控柱（ひかえばしら）　門等が傾くのを防ぐために設けられた支柱。

■茅葺（かやぶき）　草葺きの一種で、茅を材料としたもの。

■磨き丸太（みがきまるた）　丸太の皮を剥き、表面を磨くことで滑らかで、自然な風合いを表面仕上げとした材料。床柱や数寄屋風の内・外装材として使われる。

■化粧軒裏（けしょうのきうら）　木造建築において、軒の下面の垂木等を見せたままにするもの。

■木舞（こまい）　垂木上面にこれと直行して取り付けられる小断面の横材。垂木の流れに沿って、一定間隔を開けて取り付けられる。

■隅木（すみぎ）　軒の隅部に取り付いた部材。

■数寄屋風（すきやふう）　床の間、棚、書院を備えた書院造の中で、田舎屋風の意匠を用いた形式。別邸や茶室に用いられたが、江戸時代には次第に広く普及する。

2　御影公会堂

■モダニズム　過去の伝統的な装飾などを排除し、機能的な平面・立面を追求しようとする考え方。

３　土井家住宅

■入母屋造（いりもやづくり）　→先頭頁図　寄棟と切妻の結合した屋根形式。

■本瓦葺（ほんがわらぶき）　丸瓦と平瓦を交互に組み合わせた葺き方。

■漆喰塗（しっくいぬり）　消石灰に砂・糊・すさ等を混ぜて水で練った材料（漆喰）を塗ったもの。

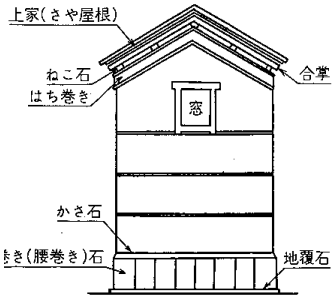
海鼠壁

■切妻造（きりづまづくり）→先頭頁図　切妻屋根（棟を頂点としてふたつの傾斜面が合わさって三角形をつくる屋根）をもった建物の形式。

■平入（ひらいり）　建物の平の側に入り口のあること。（→妻入）

■海鼠壁（なまこかべ）　瓦を張付け、その目地にしっくいをかまぼこ状に小高く盛った壁。

■鉢巻（はちまき）→右図　土蔵等の軒下で、平壁より突き出ている細長い平面。



４　旅亭文市楼

■入母屋造（いりもやづくり）　→先頭頁図　寄棟と切妻の結合した屋根形式。

■妻入（つまいり）　建物の妻（梁間方向の短い面）の側に主となる入り口がある建築形式。

■書院（しょいん）　床の間の脇に設けられる、採光等を目的とした座敷飾り。

■数寄屋（すきや）　床の間、棚、書院を備えた書院造の中で、田舎屋風の意匠を用いた形式。別邸や茶室に用いられたが、江戸時代には次第に広く普及する。

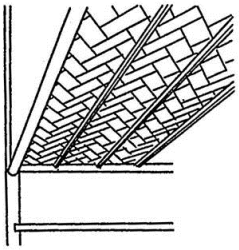
■草庵（そうあん）　茅葺(かやぶ)きや藁(わら)葺きの屋根を持つ、粗末で小さな家。

■棟札（むなふだ）　建物の新築、修理などをした際に、施主・施工者名・年月日・祈願文等を墨で書き付け、棟木等に打ち付ける、上部が駒形をした細長い板。

■中廊下（なかろうか）　両側に部屋などの配置された廊下。

■傘天井（かさてんじょう）　形が傘を広げたような形状をした天井。

■■網代（あじろ）→右図　竹皮・檜皮などの薄板を、斜め又は縦横に編んだもの。和風住宅の天井や生け垣等に用いられる。



網　代

５　旧難波酒造

■入母屋造（いりもやづくり）　→先頭頁図
寄棟と切妻の結合した屋根形式。

■平入（ひらいり）
建物の平（桁行方向の長い面）の側に入り口のあること。（→妻入）

■下屋（げや）
→先頭頁図
主屋から差しかけてつくり出した小屋根、またはその下の建物部分。

■出格子（でごうし）
柱面から張り出してつくられた格子。

■虫籠窓（むしこまど）
→右図
塗り壁に設けられた格子窓。格子に荒縄を巻き、漆喰などで塗り込め、名前の由来は、虫籠のように見えるからとも言われている。

■切妻造（きりづまづくり）
→先頭頁図
切妻屋根（棟を頂点としてふたつの傾斜面が合わさって三角形をつくる屋根）をもった建物の形式。

■裏白戸
（うらじろど）
土蔵の入口などに設ける、土塗の引戸。表面を白漆喰で仕上げることが多い。

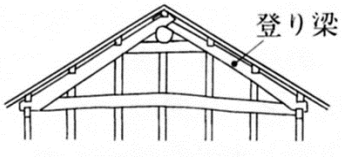
■和釘（わくぎ）
断面が四角形となった古来からの釘。角釘とも呼ばれる。

■桟瓦葺
（さんがわらぶき）
本瓦葺の丸瓦と平瓦を一つにした桟瓦を使った葺き方。葺上げたとき、勾配の下方になる一隅（重ね部）に切込みがある。

■水屋（みずや）
水屋とは、茶室の隣にあって、茶事の用意をするための小部屋、あるいは給水や流しの設備のあるコーナーをいう。

■地袋（じぶくろ）
違棚の下などにある、床面から40～50cmほどの高さの収納。

■登梁（のぼりばり）
棟木から桁まで架け渡した、断面の大きな材。屋根荷重を受ける構造材として働く。



都道府県別登録有形文化財（建造物）登録数　3月9日答申分含む

都道府県	登録数
大　阪	721
兵　庫	675
京　都	559
長　野	519
愛　知	505
新　潟	469
滋　賀	412
香　川	400
東　京	389
群　馬	338
茨　城	296
岡　山	293
高　知	276
千　葉	268
奈　良	267
石　川	262
広　島	245
岐　阜	244
神奈川	242
三　重	242
栃　木	241
静　岡	233
大　分	228
鳥　取	224
和歌山	221

都道府県	登録数
秋　田	192
福　井	192
島　根	189
山　形	186
徳　島	178
福　島	176
埼　玉	172
熊　本	170
宮　城	151
福　岡	150
北海道	145
富　山	136
山　梨	132
長　崎	128
愛　媛	123
鹿児島	122
佐　賀	107
青　森	103
岩　手	97
山　口	96
宮　崎	92
沖　縄	82
２県にまたがる物件	-2
合　計	11,886

兵庫県の国登録有形文化財　件数・箇所数

平成30年3月9日 答申まで

№	市町名	件数			箇所数		
		登録件数	抹消件数	現在件数	登録箇所数	抹消数	現在数
1	豊岡市	107		107	21		21
2	神戸市	106	15	91	55	6	49
3	姫路市	61		61	12		12
4	朝来市	53		53	12		12
5	尼崎市	42		42	10		10
6	加古川市	36		36	8		8
7	篠山市	32		32	5		5
8	猪名川町	28		28	2		2
9	三木市	21		21	4		4
10	川西市	20		20	3		3
11	加西市	20		20	6		6
12	丹波市	18		18	6		6
13	西宮市	21	5	16	7	1	6
14	加東市	16		16	4		4
15	西脇市	12		12	2		2
16	たつの市	12		12	4		4
17	南あわじ市	11		11	3		3
18	洲本市	11		11	2		2
19	高砂市	10		10	8		8
20	宝塚市	10	1	9	6	1	5
21	佐用町	9		9	1		1
22	明石市	7		7	6		6
23	芦屋市	6		6	4		4
24	福崎町	5		5	2		2
25	新温泉町	5		5	1		1
26	香美町	4		4	1		1
27	神河町	4		4	1		1
28	三田市	3		3	2		2
29	多可町	3		3	2		2
30	太子町	2		2	1		1
31	淡路市	1		1	1		1
合計		696	21	675	202	8	194

※ゴチックは今回関係市

武藤家住宅（神戸市教育委員会提供）

01武藤家住宅6主屋　玄関と後方の洋館

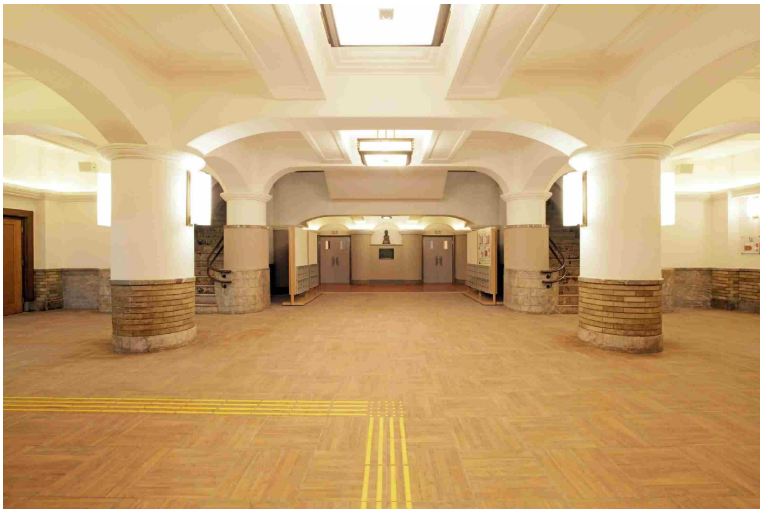
02武藤家住宅主屋　東面

03武藤家住宅敷地南西の門

御影公会堂（神戸市教育委員会提供）

01　御影公会堂 南面外観

02　御影公会堂 南西面外観



03　御影公会堂 エントランス広間

土井家住宅（姫路市教育委員会提供）

01土井家住宅主屋外観南東より

02土井家住宅西土蔵外観南面

03土井家住宅東土蔵外観北東より

旅亭文市楼（三木市教育委員会提供）

01旅亭文市楼旧館　大広間棟・玄関外観

02旅亭文市楼旧館　客室棟・東面外観（新館接続部分）

03旅亭文市楼新館　南面外観

旧難波酒造（神河町教育委員会提供）

01旧難波酒造主屋正面・南側面

02旧難波酒造酒蔵外観正面・南側面

03旧難波酒造茶室南より見る